



生まれ育ったこの池田を
いちご狩りを通して
人で賑わう町に。

地域の農を支える生産者

池田市木部地域

は た ひ ろ ふ み
秦 寛房 実さん
(46歳)

◎ 農業を始めたきっかけについてお聞かせください。

▲ 生まれ育ちが池田ということや、前職が池田市で議員をしていたこともあって、池田市が活性化し、人で賑わう町にさせたいという想いがありました。そのきっかけとして着目したのが「いちご狩り」でした。当時は大阪府で体験できるいちご狩り施設は20件もなく、どこも近郊から離れたところがありました。今あるこの場所はアクセスが良く、阪神高速の入口にも近く、電車やバスで梅田からでも1時

間圏内で来ていただけます。もちろん池田市では初めてのいちご狩り施設になることもあり、20年も放置されていた休耕田の雑木を自分たちで整地し、始めました。ゼロ知識からでしたが、高校の同級生と二人三脚で始め、今年で5シーズン目になります。初年度は失敗ばかりでしたが、イチゴアカデミーに通い、時には九州にまで研修を受けに行き、今ではたくさんさんのイチゴが出来ています。



フリードリンクと
広々とした
フリースペース有り





主な
栽培品目

やわらかく酸味がないので
お子様から年配の方まで
食べやすい品種

イチゴ(主にあきひめ)
キクラゲ



うねの間を広く設けている為、
いちご狩り施設では珍しい
バリアフリーで安心の車イス対応



Q 生産のこだわりについて

A イチゴもキクラゲも温度や湿度等、環境をきちんと整えることが大事です。自動で温度管理をしてくれる機械や、環境測定器を導入したり、何事にもトライ精神で色々なことに挑戦しています。

Q 農業で大変だったこと・嬉しかったことはありますか。

A 嬉しかったことは、お客様の声です。「また来年も来ます」や「一度ここに来たらもうここにしか来れない」など・・・やりがいです。

Q これからの目標や夢をお聞かせください。

シピなどが載ったチラシなどを作っています。ほく彩館でもキクラゲを販売しています。栄養素がいっぱい含まれており、油との相性が抜群にいいので、天ぷらにしたり、シンプルに卵と炒めても美味しいですよ。

大変だったことは、初めは何も知識がないので、病気になっっていることも小さな虫がついていることも、どの時期にどのくらいの肥料や水をあげたらいいのかわからず、初年度は根も張らなくて、少量のイチゴしか出来ませんでした。さらにはコロナウイルスが流行り、苦労しました。キクラゲに関しては、まだまだ日本の市場には出回っておらず、認知もこれからのなので、

WEB予約は
こちら

